

【2019年度 学修成果に関する「卒業時アンケート」結果の講評】

【幼児教育学科】

設問	講評	課題	備考
1) 建学の精神「真心・努力・奉仕・感謝」を意識した行動ができましたか。	84.4%の学生ができたと答え、建学の精神を意識した行動がとれているとの回答を得た。今後の保育者にとり必要不可欠な行動であることを意識し継続することを望む。	建学の精神と保育者の資質と共通している。あまりとれなかった学生数名も今後意識した行動がとれているよう心掛けてほしい。	
2) 文章理解・コミュニケーションスキル・情報処理スキル等が身についたと思いますか。	86%の学生が身についたと回答している。社会に出ての4回の実習の成果が大きく影響しているのではないかと考える。	「非常にできた」と自信をもった回答が増えるよう望む。	
3) 学んだ知識等を活用して、課題を解決する力が身につきましたか。	93%の学生が身についたと回答している。実習という社会の中で授業での知識が活かされたと考える。	色々の物事を深く考えることができるようにして課題解決力を継続して努力する必要がある。	9割以上身についた
問2 4) 教養科目(基礎科目)における知識の修得と理解ができましたか。	90%の学生が知識の習得と理解ができたとの評価である。日々の授業が実習において活かされた意識している結果と考える。	非常にできたが少ない。修得したかどうかの自己評価が難しいと感じているのではないだろうか。自覚し自信に結び付けるとよい。	9割以上理解できた
5) チームワークを意識した行動ができましたか。	90%の学生が意識した行動がとれている。学科独自の「こどもまつり」や各教科でのグループワーク等での継続的な取り組みの中で培われた結果と考える。	保育者として働くために重要な項目であり、チームワークの必然性を意識して取り組むように働きかける。	チームワークに強い。9割以上
6) 専門的な知識や技術・技能の修得ができましたか。	91%の学生が修得出来たと回答、ピアノコンサート、まるカード、幼児学ゼミ活動等得意分野を自覚し、発揮できる機会があることで自覚することができる結果と考える。	現場に出てから実践することで、初めて修得できたことが自覚できることである。学生時のみならず、今後も意識して努力していくことにより向上するように願う。	9割以上身につく活用できる
問3 学習に対する成績評価は満足できるものでしたか。	82%の学生が満足との回答を得た。多くの学生が満足しているといえるが、やや不満、不満の学生もいることを考え今後の課題とする。	学生の声を聴くようにし、不満がないように努力とともに、各教科で成績評価方法を具体的に説明するように努める。	
問4 2年間の学修が就職活動に有用でしたか。	92%が有用との回答を得た。全員が資格を取得することで就職に結びつくことを考え、各学習内容、実習指導等、問題が起きた時の対応を速やかにすることで就職に結びつくといえる結果である。	有用でないこと事得た学生もいることから、資格が就職に結びつくことを考え、意識した学修に努めたい。	9割以上有用で就活に強い
問5 就職活動は、自ら進んで活動(行動)できましたか。	91%ができたとの回答であり、自ら進んで園見学やボランティアなどをキャリア授業や指導教員の声掛けで促していることが結果につながった結果といえる。	あまりできなかった学生もいることを考え、意識付に努め、進んで行動できるようにアドバイスを心がけるようにする。	
問6 取得した資格の番号を回答してください。	幼稚園教諭2種92%、保育士93%、レクリエーションインストラクター12%であった。	今後こども園も多くなってくることを予想し、当地園免許と保育士資格の両方を取得することで保育教諭となることのできることを推奨していく。	
問7 卒業に向けて当初の目標が達成できましたか。	90%が目標を達成できたと回答、目標をもった2年間の学修学科でよかった。しかしできなかったという学生もおり、2年間の間に目標を持ち達成できるようなサポートの必要があった。	1つの資格しか取得できない学生もおり、目標達成ができなかったと考える。また、他の目標を考えていたのかしれな。個々の目標を把握し共に考え支える努力が必要である。	9割以上目標達成
問8 2年を振り返って成長できましたか。	ほぼ全員の学生が「できた」「非常にできた」との評価で良い結果であった。しかし2%の学生は成長はあまりできなかったとの回答があった。	卒業して現場に出ないと成長を実感できないかもしれないところであるが、現段階では成長を自覚できている。すべての学生が、自分の成長を意識できるような2年間となるようにしたい。	97%が成長できた。ほぼ全員が成長できたと満足

※問6の資格：1.栄養士 2.幼稚園教諭 3.保育士 4.図書館司書 5.介護職員初任者研修 6.情報処理士 7.ビジネス実務士 8.ウェブデザイン実務士
9.上級秘書士(メディカル) 10.レクリエーションインストラクター 11.スポーツインストラクター 12.フードスペシャリスト 13.ピアヘルパー
14.医事管理士 15.医療管理秘書士 16.その他

(記載について)

講評：学修成果に関して、アンケート結果が妥当であるか、評価を加えてください。

課題：評価が高ければ、さらなる支援策はどのようなか、課題として記してください。

一方、評価が低ければ、その改善対応策を課題として挙げてください。

備考：アンケート結果から、短大広報として活用できる具体的な内容を備考に記してください。